

あ・うん

金剛禪総本山少林寺広報誌

vol.
46

2016 皐月・水無月

2016年度 事業方針
70周年に向けて、
今を引き継ぐ
過去を踏まえて、



編集後記▶5月は「宗道臣デー月間」です。道院や教区ごとに、地域や社会のためになる活動を行います。雑誌のコラムである方が「人のために何かをするということは、自分の時間をその人のためにあげるとのこと」と例えていました。人の話を聞いてあげるのも、時間を割いて稼いだお金を誰かのために使うのも、そういわれれば時間に換算するとわかりやすい。そして、それは自分の人生のいくらかをその人のために使うということ。半ばは他人のために——技の相手をしたり、子供たちの世話を焼いたり、相談に乗ってあげたり。道院は楽しい自他共楽の空間ですが、その延長上に、行としての「宗道臣デー」もまたあるのです。(さ)

表紙▶三野 智大 北海道出身。専門学校札幌ビジュアルアーツ卒業。2016年度より「ダーマ」をテーマに『あ・うん』の表紙撮影に取り組む。正拳士四段。

金剛禅総本山少林寺オフィシャルサイト▶

<http://www.shorinjikempo.or.jp/religious/>
代表法話をはじめ、「宗門の行としての少林寺拳法」を動画でご覧いただけるほか、誌面に掲載しきれなかった記事・写真も掲載されています。

金剛禅総本山少林寺 検索

あ・うん vol. 46
金剛禅総本山少林寺広報誌 2016 皐月・水無月

2016年5月1日発行(奇数月1日発行)

発行人：大澤 隆

発行所：金剛禅総本山少林寺

〒764-8511

香川県仲多度郡多度津町本通3-1-48

☎0877-33-1010

<http://www.shorinjikempo.or.jp>

編集人：坂下 充

印刷・製本：(株)ブル・ドック

広報誌『あ・うん』追加発送について ◆◆◆◆◆

現在、広報誌『あ・うん』を、1道院につき門信徒10人以上の場合12部ずつ、9人以下の場合10部ずつ、一般財団支部は1部ずつ、毎号ご提供させていただいております。更に追加をご希望の方は、本山宗務部にお申し出ください(追加1部につき50円・送料別途要)。

TEL.0877-33-1010

e-mail : aun@shorinjikempo.or.jp

一期一笑



イラスト／大原由軌子

水海道道院 鈴木 裕

心打たれた「本物の拳士」

昨年、9月11日の朝、「先生、道場が浸水し、太鼓や冷蔵庫が浮いています」と連絡があった。台風18号の大雨により鬼怒川が氾濫し、常総市が未曾有の被害を受け、多くの家屋が流され、浸水した。

この非常事態の中、際立った行動で地域に貢献した拳士と、その子供たちがいる。その拳士の名は山野井喜仁。彼らは今回の浸水で、幸い被害がなかったが、復興のために家業の洋ラン栽培の仕事を一時中断し、断水して泥の撤去に困っている市民に栽培用の水を提供することを決意。配水場所はSNSで知らせ、トラックで毎日運び、水道が復旧するまで続けた。ほかにも高圧洗浄機で泥を洗い流す、少林寺拳法ボランティアチームとも連携し、放置された山積みゴミの撤

去、停電で真っ暗な街を毎晩深夜パトロールして、治安維持にも努めた。

山野井拳士は私が今から43年前に教師として旧・水海道市(現・常総市)に赴任し、数年後道院を設立したときに入門してきた拳士である。彼の父親(故・山野井瑛氏)も開祖の志、「半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを」に共感し、道院設立当初から長年後援会長として支援をいただいていた。喜仁氏も息子三人を入門させ、孫たちも祖父と父親の志をつないでいる。

私には今回の災害でボランティア活動している喜仁氏に父親の生き方が重なって見えた。また正義感、優しさ、行動力を備えた人間性にあふれる「本物の拳士」の心が三代にわたり受け継がれている姿に胸が熱くなった。

投稿大募集 道場や拳士のちょっとした話を募集しています。※ペンネーム可ですが、必ず、名前、所属、連絡先もご記入ください。なお、原稿内容の整理・編集をさせていただく場合があります。原稿の選択はご一任ください。〒764-8511 香川県仲多度郡多度津町本通3-1-48 金剛禅総本山少林寺 広報誌担当宛 TEL.0877-33-1010 FAX.0877-56-6022 e-mail : aun@shorinjikempo.or.jp